

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
(仮称)京都水族館計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版
■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート	実施設計段階	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
記述項目				0.40			3.8
Q 建築物の環境品質			-	-	-	-	3.8
Q1 室内環境			-	-	-	-	
1 音環境			-	-	-	-	
1.1 韻音			-	-	-	-	
1 暗騒音レベル			-	-	-	-	
2 韵音抑制率			-	-	-	-	
1.2 遮音			3.0	-	1.0	-	
1 開口部遮音性能			3.0	-	3.0	-	
2 界壁遮音性能			3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音			3.0	-	1.0	-	
2 温熱環境			3.5	0.57	-	-	3.5
2.1 室温制御			4.1	0.50	-	-	
1 室温設定		冬期22℃、夏期24℃の室温を実現可能な設備容量の確保	5.0	0.50	3.0	-	
2 節能装置(温熱制御機器)			-	-	-	-	
3 外皮性能		外壁等U=0.8W/m2K程度	4.0	0.17	3.0	-	
4 ゲート別制御性			3.0	0.33	3.0	-	
5 温度・湿度制御			-	-	-	-	
6 異別制御			-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
8 施設区分方法			-	-	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境			-	-	-	-	-
3.1 昼光利用			-	-	-	-	
1 昼光率			3.0	-	3.0	-	
2 方位別開口			3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備			3.0	-	3.0	-	
3.2 グレア対策			-	-	-	-	
1 照明器具のグレア			-	-	-	-	
2 昼光制御			3.0	-	3.0	-	
3.3 照度			-	-	-	-	
1 照度			3.0	-	3.0	-	
2 照度均分布			-	-	-	-	
3.4 照明制御			3.0	-	3.0	-	
4 空気質環境			4.2	0.43	-	-	4.2
4.1 発生源対策			5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		☆☆☆☆全面的採用、VOC放散量少	5.0	1.00	3.0	-	
2 放熱や不燃系			-	-	-	-	
3 第二方に對応			-	-	-	-	
4 リサイクル対応			-	-	-	-	
4.2 換気			3.5	0.30	-	-	
1 換気量			3.0	0.50	3.0	-	
2 自然換気性能		給排気口6m以上間隔確保	3.0	-	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮			4.0	0.50	3.0	-	
4 給排気装置			-	-	-	-	
4.3 運用管理			3.5	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		手動計測、マニュアル整備	4.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.7
1 機能性			4.3	0.40	-	-	4.3
1.1 機能性・使いやすさ			4.0	0.40	-	-	
1 広々・収納性			3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		建築物移動等円滑化誘導基準以上の十分な配慮	3.0	-	3.0	-	
3 パブリック・アート			4.0	1.00	3.0	-	
1.2 心理性・快適性			5.0	0.30	-	-	
1 広々感・景観			3.0	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース			3.0	-	3.0	-	
3 内装計画		評価4項目に該当	5.0	1.00	3.0	-	
1.3 維持管理			4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に関して充実した取組(評価項目6~8ヶに該当)	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理に関して充実した取組(評価項目7~9ヶに該当)	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.48	-	-	
1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.0	0.33	-	-	
1 転体材料の耐用年数		ガルバリウムダクトなどの長寿命化	3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			4.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	

解説シートの
採点結果
建物全体 住居宿泊

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.8	-	-	-	
	2 給排水・衛生設備	評価項目3ヶに該当	3.0	0.19	-	-	
	3 電気設備	評価項目2ヶに該当	5.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備	評価項目2ヶに該当	3.0	0.20	-	-	
	6 通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性	3.6	0.29	-	-	3.6		
	3.1 空間のゆとり		4.0	0.31	-	-	
	1 階高の中とり		4.0	-	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	整形でフレキシブルな展示スペース 5000N/m ² を想定した自由展示スペース	4.0	1.00	0.10	-	
	3.2 荷重の中とり		4.0	0.31	3.0	-	
	3.3 設備の更新性		3.1	0.38	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		4.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
1 生物環境の保全と創出	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	4.0
	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.40	-	-	4.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	評価ポイント4以上に該当	5.0	0.30	-	-	5.0
	3.2 敷地内温熱環境の向上	評価ポイント5以上に該当	5.0	0.50	-	-	
	3.3 地域性への配慮、快適性の向上	評価ポイント15以上に該当	5.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性	LR1 エネルギー		-	-	-	-	4.0
	1 建物の熱負荷抑制	PAL値基準-25%以上減	5.0	0.30	-	-	5.0
	2 自然エネルギー利用		4.0	0.20	-	-	4.0
	2.1 自然エネルギーの直接利用	トップライト、クールピットを採用	4.0	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用	太陽光パネルを利用した発電システム(1MJ/m ² 年以上)	4.0	0.50	-	-	
	3 設備システムの高効率化	ERR25%以上削減	5.0	0.30	-	-	5.0
LR2 資源・マテリアル	4 効率的運用	ERR=29.7	4.0	0.20	-	-	4.0
	4.1 モニタリング	運用、維持、保全の基本方針及び目標値を設定	4.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理制度	エネルギー消費のモニタリング	4.0	0.50	-	-	
	1 水資源保護		-	0.30	-	-	3.5
	1.1 節水	節水コマ+節水型便器	3.8	0.15	-	-	3.8
	1.2 雨水利用・雑排水再利用		4.0	0.40	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	1 雨水利用システム導入の有無		3.6	0.60	-	-	
	2 雜排水再利システム導入の有無	雨水利用	4.0	0.67	-	-	
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.33	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		2.0	0.07	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.24	-	-	
	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	屋根軒裏の木製ルーバーに間伐集成材を使用など	3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	2.5 持続可能な森林から産出された木材		5.0	0.20	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.05	-	-	
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	評価ポイント1に該当	4.0	0.24	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.63	-	-	3.5
	1 消火剤	対象物質含有しない建材1つ以上に該当	4.0	0.32	-	-	
	2 断熱材		3.3	0.68	-	-	
LR3 敷地外環境	3 冷媒	ハロン消火剤なし	4.0	0.33	-	-	
	1 地球温暖化への配慮	CO2排出量 参照値比60%程度	5.0	0.33	-	-	5.0
	2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	評価ポイント11~17に該当	4.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	評価ポイント4に該当	4.0	0.25	-	-	
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.33	-	-	3.0
	1 騒音		3.0	0.40	-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	2 日照阻害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.20	-	-	
	2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.70	-	-	
			3.0	0.30	-	-	